

30209その他の建築工事業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起因物 (小)	労 働 者 規 模
1	2017	12	11~12	当社倉庫内において、倉庫整理のため2tトラックに鋼製足場材を積み込んでいたところ、足元の段差に気づかず、足をとられてバランスを崩し腰を捻った。	20	19	921	1 ~ 9
2	2017	12	13~14	壁の高さ5mの位置に、梯子に乗ってビス打ちをしていた際にバランスを崩し、梯子ごと倒れて転倒し、地面に右肘を強打して骨折した。	63	1	371	1 ~ 9
3	2017	12	15~16	会社の資材置場で、トラックの荷台に資材を積み終わり、荷台から降りようとした際、躓いたので自ら地面に飛び降りたところ、バランスを崩して転倒し、肩・背中・頭部を負傷した。	71	2	221	10 ~ 29
4	2017	12	11~12	現場に行く前に、塗料の準備をしている時、上の棚の塗料を取ろうと脚立に乗り塗料を持ったままバランスを崩し落下した。その際、足から着地した。その時は足の痛みもたいしたことはなく、すぐ治るかと思い様子を見たが時間がたってゆっくり歩こうとしたが歩けなかったため病院を受診した。	54	1	371	1 ~ 9
5	2017	12	12~13	床工事の現場で、材料の角材（約20kg）を運ぼうと床から中腰で持ち上げた際、腰に強い痛みが走った。	35	19	921	1 ~ 9
6	2017	12	9~10	工場の屋根工事の現場で、下請として足場の解体作業を行っていた時、被災者が地上で足場の受け取りをしていたが手を滑らせ、足場材が落下し足にぶつかり、負傷した。	28	4	521	1 ~ 9

7	2017	12	13~14	会社の置き場で、3連ハシゴを運ぶ途中に、ハシゴの下を持ちすぎて、自分の左肩に落ち、左肩の骨が欠けた。	24	4	611	1 ~ 9
8	2017	12	15~16	配達の為マンション敷地内に駐車し、降車して助手席側スライドドア付近にある荷物を取りに車両後部から回ろうとしたところ、雪道で足が滑り転倒しそうになったのを耐え踏ん張った右足が軽車両下部に滑り込み反転しながら転倒し右足を骨折したものである。アイスバーンの上に新雪が積もった状態であった。	35	1	415	1 ~ 9
9	2017	11	11~12	建設工業の自社資材置場で、材料の片付け作業中、材木をのせているうまに躓き、地面に倒れた。その際に地面に置いていた角材（4角・2m）に身体の右側を強打して負傷した。（段々と痛みが強くなったので、夕方病院へ行った。）	44	2	379	1 ~ 9
10	2017	11	16~17	ビニールハウスを暖める為、薪ボイラー（お湯を沸かしてビニールハウスを暖めるボイラー）に薪をくべていたところ薪ボイラーの扉（かなり高温だった）（縦約80cm、横約1m）に誤って左足が当たってしまい火傷した。	44	8	159	1 ~ 9
11	2017	11	16~17	停車しているトラックの荷台で積み荷の廃材が緩んでいないか確認しようとしたところ、荷台に掛けた足と廃材に掛けた手が滑り、廃材ごと路上に落下した。落下した際に廃材の尖った先が左の脇腹に刺さった。	28	1	221	1 ~ 9
12	2017	11	9~10	被災者は、第1北スタンド棟3階の男性用トイレにて壁の解体作業をしていた。掘削機で壁の下に切れ目を入れ奥に倒そうとしたところ壁（幅1.2m、高さ1.6m、厚さ20cm、重さ約300kg）が手前に倒れて来て負傷したものである。（下敷きとなった）	43	5	419	1 ~ 9
13	2017	11	8~9	現場駐車場にて、車止めポールを下げ、車を進入させ、車止めポールを戻している際に車を少し坂になったところに停めた為、サイドブレーキが甘く、後ろを向いていた為、車が下がってきた事に気が付かず、車がぶつかってきて、その下敷きとなり、負傷	69	7	231	1 ~ 9

				した。				
14	2017	11	1~2	廊下天井ボード貼り作業を、アルミ製可搬式作業台で施工中、ボード貼り替え作業が生じた為、ビスを取り外す作業を体を回しながら行っていた際、工具の電源コードが足に絡みついていたので、足でコードを振り払った時バランスを崩し転倒した。可搬式作業台の手掛かり棒を掴んだが、荷重に耐え切れず手掛かり棒が曲がり、前のめりに床へ転落した。	47	1	371	1 ~ 9
15	2017	11	16~ 17	放課後等デイサービスの活動中、利用者支援を行っていたところ、利用者同士のトラブルでイライラしていた利用者に体当たりをされて蹴飛ばされた。	23	7	142	1 ~ 9
16	2017	11	13~ 14	当社倉庫において、機材片付け作業のため固定してある鉄製梯子を降りていたところ、下から3段目より靴が滑り床に左足が着いた時に強打し負傷した。帰宅後、痛みが取れないので当日受診した。	37	3	372	1 ~ 9
17	2017	10	15~ 16	土場（借地）で仮置きしていた雑木（薪材）長さ約1m、直径3~5cmを長さ30cmほどにするために小型チェーンソーで切る作業中右手でチェーンソー左手に雑木を持ち切っていた時、左手人さし指にチェーンソーが接触して負傷した。	21	8	169	1 ~ 9
18	2017	10	9~ 10	リフォーム工事現場において、屋根のカブセ葺き作業をしている時、何らかの作業途中に隣地へ転落し、腰椎骨折、頸椎を損傷した。当時現場は一人で作業をしていたため目撃者はいない。本人現在入院中で、事故当時の記憶がないため、回復を待つ聞き取りを行う。	47	1	415	10 ~ 29
19	2017	10	8~9	事務所内階段（全11段）を降りる際、途中、上から7段目において、足をふみ外し、反転して下まで滑り落ち、その際、右ひじを打ち、負傷したもの。	49	1	413	10 ~ 29
20	2017	10	9~	敷地内にある防犯灯の蛍光管の取替作業中、防犯灯のポールが経年劣化のため、腐食が進んでおり根元より倒壊しポール脚立と共	57	1	419	1 ~

			10	に倒れた。					9
21	2017	10	17～ 18	造成工事現場の擁壁底盤の段差（約1m）がある場所で、擁壁立上り打設の準備と確認作業をしていたところ、型枠ジク材を上段にいた作業員に手渡しするために、上段底盤へ登った際、バランスを崩してそのまま後ろ向きに上段から下段へ着地した時、左足踵骨を骨折した。	36	1	418		1 ～ 9
22	2017	10	16～ 17	建設現場にて、場内整備の為コンクリートガラの中の山にあるゴミ取り作業中、濡れていたガラに足を滑らせてしまい転倒して、ガラ山から（1.5m）落下し左足を負傷してしまった。	53	1	711		10 ～ 29
23	2017	10	10～ 11	学校の渡り廊下屋根修繕工事現場において、前日の台風の風で飛ばされた校舎渡り廊下の屋根（ポリカーボネート製、大きさ1.0m×1.8m位）を、高さ約1mの脚立に乗って取り付けようとしていたところ、突風にあおられて転落し、左脚かかとを打撲し骨折、また、腰部も打撲で背骨を圧迫骨折したものの。	62	1	371		1 ～ 9
24	2017	10	16～ 17	会社資材置き場において資材整理をするため敷地内を歩いて移動していた時、地面に敷いてあった敷鉄版（500×150×2.5cm）の段差に躓きバランスを崩し、右足首を捻り負傷したものの。	54	19	417		1 ～ 9
25	2017	10	15～ 16	公園改修工事現場にて、左手に防水材料を持ち、建物東面の昇降足場6階付近を移動中、転倒しそうになり、右手で足場を掴んだところ負傷。	34	19	417		1 ～ 9
26	2017	9	14～ 15	被災者は、小学校校舎大規模改造工事に従事、北面1Fガラリー部（建物の中にある空気を抜く穴）を既存シーリング撤去の際、低い場所にガラリーが設置だった為体を寝せてガラリー水切上部に左手を置いて水切下部の既存シーリングを手動カッターで除去中にカッターが滑って、支えていた左手の手のひらを負傷した。	25	8	364		1 ～ 9
27	2017	9	15～	解体工事現場において、木造1階部分を地組に乗って手ばらし作業していたとき、躯体梁から足を滑らせ約2mの高さから1階フ	46	1	415		1 ～

43	2017	8	13~ 14	屋根塗替工事の為梯子を登り1.6m位の場所で足が滑り地面に落ちて右足をつき踵にひびが入る。	66	1	371	10 ~ 29
44	2017	8	13~ 14	工場にて在庫の鉄筋曲げ機で加工中に発生した。長さ約1m、太さ直径13mmの鉄筋を加工機にセットしている途中に足で作動させるスイッチを作動させてしまい左手を作動部と鉄筋に挟み左手を骨折裂傷した。	75	7	159	10 ~ 29
45	2017	7	15~16	自社倉庫で作業中、バックホーを移動させ、坂にかかった時にバックホーが上下に激しく揺れ、前方へ飛ばされ頭部より落下した。	52	1	142	1 ~ 9
46	2017	7	15~16	解体工事で一階の屋根から足場に移動していたら足が滑って落下した。	68	1	411	10 ~ 29
47	2017	7	13~14	家屋解体工事中、1階付近で鉄骨ALCバラシ・ガス溶断・合番作業中、重機が2階から1m×1mのALCを降ろしていた。その際、2階に残っていたALC1枚がずれて落下、ヘルメットの上から頭に直撃した。すぐに作業を止め、現場で様子を見たあと、事業主に家まで送ってもらった。	42	4	521	1 ~ 9
48	2017	7	15~16	積み荷の締め直しのため路上にトラックを止め、荷台で荷物の移動をしていたところ、小さい型枠材（パネルの加工材）を大きいパネルと勘違いし、足を置いたところ天秤になりトラックの荷台から転落、身体を支えるため右手を着いたときに右手首を骨折した。	25	1	221	10 ~ 29
49	2017	7	16~17	会社で仕入れた材料の手摺（1.8m、10kg）をトラックから降ろす作業中、手が滑って右足甲に落ちた。手渡しで作業していた。	30	4	521	10 ~ 29
50	2017	7	9~10	設備撤収作業の際に側溝の蓋の段差につまずき転倒し、左足膝を	75	2	417	1 ~

				強打してしまい半月板を損傷してしまった。				9
51	2017	7	9~10	文化会館3階備品倉庫にて、備品貸し出しのため、倉庫内の長机（折り畳み式）を移動しようとした際、長机が倒れ右足に当たり、甲部分に受傷したもの。	41	1	414	50 ~ 99
52	2017	7	16~17	麦出庫のため、フレキシブルコンテナの上で作業を行い、作業を終えてコンテナから降りる際に、左足かかとから着地し亀裂骨折したもの。	25	3	521	1 ~ 9
53	2017	7	8~9	工場朝に残材の片付け整理中に発生した。長さ約1m、太さ約2.5cmの鉄筋を、切断機で切断する際に誤って鉄筋先端部を持って押さえていたため、切断の反動で鉄筋と台の間に左小指をはさみ負傷した。	57	7	159	10 ~ 29
54	2017	6	16~17	会社の倉庫内で、天井の軽天材をトラックに積み込むため小さくしようとバールで叩いたところ、メガネの下側から鉄片が当たって負傷した。	56	4	521	10 ~ 29
55	2017	6	15~16	2tトラックで廃棄物を運搬し、帰宅中に交差点内において右折しようとした際、直進して来た対向車と接触し、負傷したものである。	46	17	231	1 ~ 9
56	2017	6	16~17	屋外敷地内において、外構塗装工事中、階段の段差に躓き、階段の踏み板に左足の膝が当たり、開放骨折した。	26	1	413	1 ~ 9
57	2017	6	16~17	コンクリート解体作業中に、3メートルの高さの足場にて、安全帯を掛け直そうと右手に電動工具を持っていたため、左手にて安全帯を外し、振り返った際にバランスを崩し、飛び降りるような形で落下した。落下した先には、解体後のコンクリートがあり、右足を強打した。	35	1	411	1 ~ 9
			15~	被災者が、6tトラックで廃材入りフレコンを運搬し荷卸作業中、フレコンに固定してある吊りバンド部分をバックホウのフォーク				10

58	2017	6	16	で挟み易いよう持ち上げて開いたところ、バックホウのフォークに右手人差し指を挟まれて負傷した。	62	7	145	～ 29
59	2017	6	13～ 14	平屋建鉄骨倉庫の解体工事中、バックホーで、パレット（1.3m×1.3m）に載せた水タンク（1m×1m×1.2m、容量300kg位）を4本のワイヤーで吊り上げた（高さ約1.5m）ところ、落下した。その際、被災者の鼻部に当たり、負傷した。	49	4	142	1 ～ 9
60	2017	6	10～ 11	木造二階建アパート建築現場において、約1.2mの脚立の上で梁と柱の金物作業をしていたところ、足を滑らせて転落し、左腕と右膝を打った。	64	1	371	1 ～ 9
61	2017	6	16～ 17	加工場において、H形鋼をトラックへ積もうとしていたところ手が滑り、左足の上に落とし、左足の第1趾基節骨を骨折した。	45	4	521	30 ～ 49
62	2017	6	9～ 10	既設工場の建物内で左官工事作業中に、他業者（客先業者）工事の為、工場内のタンクドレーン排水（約70℃）を行ったところ、放流用の仮設ホースが水圧によって暴れ、ホースの先端近傍で作業していた作業員に排水が当たり、熱傷を負った。	34	11	519	1 ～ 9
63	2017	6	11～ 12	店のサイン工事施工中、若干の傾斜地に駐車してあった高所作業車両のアウトリガーの収納作業をしていたところ、当該車両のサイドブレーキのかけ方が緩かったため、アウトリガーが外れたと同時に自然に当該車両が後退し始め、慌ててアウトリガーを再度かけようと操作したが間に合わず、そのまま後方に駐車中の他の車との間に挟まれたものである。	40	6	146	1 ～ 9
64	2017	5	9～ 10	会社工場で屋根材の成型機で鋳金の成型作業をしていた時、成型機がキーキーと音を立てたので成型機のスイッチを入れたり切ったりしながら、様子を見ていたが、音が治らないので、成型機を動かしながら調整ロールを清掃しようとしてウエスを使った時、誤ってウエスと一緒に手袋をしている右手が巻き込まれ右手中指を受	36	7	154	10 ～ 29

				傷した。				
65	2017	5	11～ 12	跡地整備工事において、解体用養生足場を撤去作業中、最上段の作業が終了し、1段下の足場へ昇降階段を利用せずに移動していた。コンクリート壁を重機で内側に倒そうとしていたが足場に接触し、その衝撃により、高さ11mから地上に落下した。	27	1	411	1 ～ 9
66	2017	5	10～ 11	当社資材置場にて、材料の片付け作業を行っていたところ、脚立の3段目よりバランスを崩し転倒し、腰や背中を強打した。	52	1	371	1 ～ 9
67	2017	5	11～ 12	個人宅において、外壁及び雨樋工事中、解体した単管足場を積み重ねていたところ崩れ（長さ約3m、重さ5～6kg）、左足の上に落ちて左足小指を骨折した。	22	5	521	1 ～ 9
68	2017	5	15～ 16	造成工事現場において、小型コンクリートミキサーを操作し、セメントを練る作業中、ミキサーの底が固まり作動しなくなったため、手を入れ固まったセメントを取り除こうとした時にスイッチを切り忘れていたため突然動き出し、右手中指が巻き込まれた。	28	7	162	10 ～ 29
69	2017	5	9～ 10	個人宅倉庫補修工事現場において、ベビーサンダーを右手に持ち鉄板（910cm×360cm）サイディングの加工中、ベビーサンダーが反発して、その反動で材料を押さえていた左手に当たり、裂傷負傷した。	24	8	153	10 ～ 29
70	2017	5	15～ 16	事業所工場内にて片付作業中、鋸金材のトタン板を両手に持って移動の際に材の重さによりバランスを崩し、右手人差し指に材が乗り、指先を切傷（5針）した。	40	8	521	1 ～ 9
71	2017	4	11～ 12	当社鉄工工場にて、金属加工機械を使用して鉄板を加工中、右手親指先を加工機械に挟み、親指先を切断する。	18	7	154	1 ～ 9
			11～	角材（100×100×4.5、約1m800）を4本横に並べて室外へ出そうとクレーンを使用し移動していた際、角パイプ上に右手を乗せ				1

72	2017	4	12	ていたため、移動中に角パイプが集まり右手親指を挟んだ。対策として、クレーン使用時には手を乗せたりせず、角材を移動する時は重ねて移動することとした。	32	1	221	～ 9
73	2017	4	13～ 14	3F和室の壁面に5.5mmベニヤを貼付作業中に、ベニヤを丸のこで切断を行う際にベニヤのクズを手で取り除こうとし、誤って切断中の丸のこに左手が接触し左手の指を負傷した。	42	8	131	10 ～ 29
74	2017	4	14～ 15	土場内作業（ゴミ仕分）において車両から畳をおろす際に既存の畳おろしの場所の上に置くシートを固定する物150角の角柱木材（長さ1m位）を足下に落下させる。	56	4	522	10 ～ 29
75	2017	4	14～ 15	重機への移動中、鉄板の段差で躓きバランスを崩し、左足で踏ん張った際に左足付け根を捻り受傷した。原因は、作業通路でなく車路を歩いていたためである。鉄板の段差は40mmであり、注意不足によるものと考えられる。	66	19	417	30 ～ 49
76	2017	4	18～ 19	資材置場新設工事の現場において、地面に置いた単管パイプを取ろうとした際に誤って単管パイプを踏んでしまい、転倒したときに左膝を強く打ちつけた。	30	2	521	1 ～ 9
77	2017	4	7～8	牧場牛舎新築工事現場において、被災者が現場に置いてあった移動式クレーンRFの雪を取り除くため車体に上がり、除雪作業を行っていた際、移動中に足が滑り、背中より約1.5m下の地面に落下し負傷した。	54	1	212	1 ～ 9
78	2017	3	8～9	解体工事の作業場で片付工事の作業中、水道メーターにカバーをしようとし、解体養生に立てかけてあったベニヤ板を引いたところ、その上に引っ掛かっていたコンクリートガラが落ちてきて、中腰だったので左の腰に当たって負傷した。	63	4	419	30 ～ 49
79	2017	3	11～12	当社作業場にて、資料の整備で型枠パネル（木製）に付着しているコンクリート塊をグラインダーで削り落としていた際、弾かれてパネルを押さえていた左手首にグラインダーの刃が当たり切創を負う。	25	8	153	1 ～ 9

80	2017	3	1~2	リフォーム工事現場にて浴室解体作業中、1人でカー杯浴槽を引き上げようとした時、右肩からグジュと音がし、右肩腱板断裂を負った。	59	19	529	1 ~ 9
81	2017	3	15~16	現場作業が終わり倉庫に戻ってきて、作業で使用したモルタルポンプ（1300×500×750mm、240kg）を移動中に手を滑らせ、右腕でとっさに押さえたため負担がかかり、右腕筋を挫傷した。	42	19	612	1 ~ 9
82	2017	3	11~12	当社倉庫兼作業場にて、塗装資材の収納整理作業を終えて事務所に戻る途中、作業場にかかる擁壁にかけた脚立を降りる際、左足を内側に踏み入れてしまいバランスを崩し、右側に横転し、脚立にかかった左足を捻り負傷した。	50	1	371	1 ~ 9
83	2017	3	11~12	重機でダンプの上にある大ガラをブレイカーで割っている作業中に、割ったガラの一部がダンプ右後方（重機の左前当たり）で作業をしていた被災者の右手に当たった。	35	4	529	10 ~ 29
84	2017	3	9~10	看板取付工事の現場で、約2m50cmくらいの高さの脚立の上で看板の取付を行っていたが、バランスを崩してしまい落下し、体の左側を地面に打ちつけ負傷した。	50	1	371	1 ~ 9
85	2017	3	21~22	会社の資材置場にて資材の整理中に、資材（ブラケット10本、約20kg）を右手で持ち上げた際に、バキッと音がして右肩に急激な痛みがはしり負傷した。	24	19	521	—
86	2017	3	11~12	現場へ向かう途中、反対車線へ飛び出してしまう、対向車と衝突した。（過失割合は本人が100%）	50	17	231	1 ~ 9
87	2017	3	13~14	電動丸のこでベニヤ板を切断中、左親指の神経と腱を切断した。	22	8	131	1 ~ 9
88	2017	2	15~16	二人で長尺荷物を持って、棚の上に上げていた時、相手方が手を滑らせて、離してしまい、荷物を落下させたので被災者が支えき	25	4	521	—

				れなくて、自分の手の上に落としてしまい負傷した。				
89	2017	2	11~12	リフォーム工事現場において、脚立に上がり（高さ約1m60cm）屋根の軒先解体作業後、脚立から降りる時、足を踏み外し地面に落ちたところ地面の配水管に右肩、右胸部、背中を打ち負傷した。	67	1	371	1 ~ 9
90	2017	2	7~8	軽トラックで現場の個人宅に向かう途中、点滅信号赤で歩行者有りの為、停車していたところ、水産物地方卸売市場より駐車場を通り道路に出て右折した2t保冷車が後ろから追突した。（軽トラックは運転者と同乗者、計2人。）停車中の後ろからの追突人身事故100：0で過失0である。	39	17	221	1 ~ 9
91	2017	2	9~10	個人宅屋根塗装工事にて、施主より塗装完了後の屋根面に足跡があると指摘を受けた為、それを雑巾で拭き取る為に2連梯子を用い屋根に登ったところ、作業を行うには危険だと感じ、下りようとした時に足を滑らせ、約2m下の駐車場土間に、足から落ち負傷したものである。	48	1	415	—
92	2017	2	16~17	作業小屋解体工事において小屋2階部分の床を解体工事中、建物の梁に足をかけて作業していたところ足を踏み外してしまい、作業部分に転落した。自力で動けなかったことから救急車を呼び病院に搬送された。左足大腿部を負傷、骨折と診断された。なお、アルミの足場を敷いてから作業するようにと元請事業所から指示を受けていた。	30	1	414	1 ~ 9
93	2017	2	10~11	内野スタンド床塗替工事の現場で、塗装がきちんと塗れているかスタンド席の椅子の下を確認するために腰を屈めた姿勢で後ろ向きに歩いていたところ、途中にある階段に気付かずに足を踏み出してしまったため2、3段落ち、左足首が捻れた状態でそこに全体重がかかるような形で着地した。昼過ぎから腫れてきたが湿布で応急処置をして仕事を続けたが、翌朝、激痛で立てなかったため受診した。	41	1	413	—

94	2017	2	11~12	現場地上にて、被災者以外の5名と共に屋根材吊治具トラス（L=5,500、100kg/本）を組立作業中、トラス接合部分のプレートに手を添えてしまい、接合時に、プレートとプレートの間を挟まれ、負傷した。	62	7	521	—
95	2017	2	15~16	農地において、農業用パイプハウス組立作業を行っている時に、勾配のある屋根部位に波トタンの固定作業を行っていた最中に、雪が降ってきたため足を滑らせ、波トタンの上を滑落し、左足と背骨を骨折した。（ヘルメット着用）	43	1	415	10 ~ 29
96	2017	1	15~16	4tダンプで産業廃棄物（コンクリート）を荷下ろしする際、ダンプ荷台を上げて中立にした状態で、荷台に引っ掛かっていたコンクリート殻を手で引っ張って降ろす作業をしていた。ダンプ荷台の鉄板は、荷下ろししたコンクリート殻に少し引っ掛かった状態だった。上げた状態で中立にしていたはずのダンプ荷台が、少しずつ降下しているのに気付かず、作業を継続していたところコンクリート殻に引っ掛かっていた鉄板が外れ、勢いよく動きだし、その際にダンプ荷台と鉄板の隅に左手の甲を挟み、打撲した。	33	6	221	1 ~ 9
97	2017	1	13~14	第2資材センターにおいて、第1資材センターへ資材を運搬する為にトラックの荷台に立棒を積み込みしているとき、革手袋が荷台に引っかかり、立棒と荷台のドアに左手薬指を挟み負傷する。	57	7	611	30 ~ 49
98	2017	1	9~10	外壁張り替え工事において作業するにあたり、外壁横のカーポートの屋根（重さ約60kg程、縦約5m、横約3m、高さ約2.5m）を傷つけてはいけないのと作業しやすいように、屋根だけ外し30m程移動させるため、脚立（約1.5m）の上から2段目にまたがり屋根の枠のアルミパイプを右肩で担ぎ、反対側ではブロック塀に乗って二人で持ち上げようとした時、脚立の上で作業していた者が首・肩・胸に激痛があり肩胛骨が腫れてきた。	28	19	921	—
				屋根上でグラインダーで金属を切断するため、クラインダーの				

99	2017	1	14～ 15	コードをコンセントに接続した。その時にグラインダーの電源がONになっていたため作動し、その反動で右手第2指を負傷した。	29	8	153	1 ～ 9
100	2017	1	13～ 14	残土置場敷地内において、2トンダンプにより残土搬出作業中、ダンプの荷台のフタと車両の後部に大きな石が挟まり、手で石を取り除こうとしたが石が外れた反動で荷台のフタが勢いよく閉まり、右手親指をはさみ負傷した。	36	7	221	—

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。